

# 番傘川柳本社7月(61回水府忌)投句句会

締め切り…令和7年7月15日  
 参加者……………103名  
 投句整理……………柴田桂子  
 名簿作成……………柴田桂子  
 清記……………柴田桂子

## 宿題 残る 弘津 明子 選

余力なお残し晩学舟を編む  
 明け残る月が静かに笑って  
 残った遺跡昔を語り出す  
 履歴書に道草食った跡がある  
 曇りガラスにあなたが残る朝の月  
 残り少ない落ちる時間の砂時計  
 げんまんの小指末だにうずいてる  
 ばったりと出会い面影残る友  
 耳底に残るあの日の一言が  
 あれからの八十年を重い口  
 伸び代がまだたっぷりとある余生  
 もういか手打ちの後に悔い残る  
 戦後八十遺児が居残るこの無念  
 残り物もつたいないと母肥満  
 対処した話忘れず残すべし

安西 廣恭  
 島田千代子  
 坂本 和子  
 藤井満洲夫  
 奥田 悦生  
 入江 晴菜  
 田中きみ子  
 藤井 裕美  
 中谷 栄子  
 鮎子田嘉子  
 常國 喜好  
 諸富 幹夫  
 羽生 悦郎  
 橋本 恭治  
 惠利 菊江

くちなしの残り香染みる散歩道  
 指のあと打ち身になって棚のものも  
 零れ種忘れた頃に花が咲く  
 残る鴨北の国より此処が良い  
 くやし涙残したポケットの拳  
 残り物値札替えたら売れました  
 表札は昔のままで忌が巡り  
 間伐の木々に感謝の残る木々  
 無医村に残る気の毒高齢者  
 留守電に残るとなると身構える  
 遺言を書いて気づいた預金高  
 悪名が残る独裁者が跋扈  
 残響に戦火を越えた風の音  
 助手席の髪一本で浮気ばれ  
 残りわずか名前呼ばれてない焦り  
 お別れの手紙切手にある指紋  
 残り物もつたいないで太る母

和泉富美子  
 鈴木かつえ  
 山岸 洋美  
 志方 智外  
 荻野 浩子  
 久崎 田甫  
 瀬戸 波紋  
 山田 順啓  
 南 高志  
 桑野まりこ  
 近藤 クニ  
 毛利 元子  
 山口由利子  
 松下 英秋  
 中村八十八  
 辻部さと子  
 稲垣 義舟

## 宿題 奇跡 桑原すゞ代 選

今尚に耳底残る恩師の語  
 ラッキーなこともあるよね残り物  
 コーヒーの染みに君とのものがたり  
 気がつけば探しに来ないかくれんぼ  
 親を捨てて心残りの大都会  
 やることを残りの年と相談す  
 痩せてもネ枯れても私残る島  
 戦争が残した傷は不滅です  
 夢なかば胸に残して黄昏る

山内 悦次  
 若山 宗彦  
 栗原つや子  
 高瀬 秀子  
 戸田 清孝  
 水戸 二七  
 主税みずほ  
 碓氷 祥昭  
 弘津 明子  
 奥田 悦生  
 藤井満洲夫  
 田中きみ子  
 西谷 公造  
 常國 喜好  
 黒田るみ子  
 村田 賢爾  
 西陣 五朗  
 西川 東岳  
 水戸 二七  
 栗原つや子  
 碓氷 祥昭  
 土居 直子  
 小代千代子

シッターチャンス奇跡のいまいをゲット  
人生に奇跡のドラマ付き纏う  
時空を超えてこの本に会えました  
幸運は奇跡不幸は運命か

荻野 浩子  
諸富 幹夫  
中武 弓  
橋 和美

当たり前ではなく全て奇跡です  
AIに分かるはずないこの奇跡  
今ここに君と居るのも奇跡的  
入選の知らせ届いた夢かしら

山田 順啓  
高瀬 秀子  
山岸 洋美  
松岡登代子

コソコソと働き奇跡縁がなし  
トランプが関税いらんと云って来た  
墜落機一人奇跡の生存者  
どん底で亡き母の声灯をともし

嶋 喜八郎  
南 高志  
住田 照水  
中谷 栄子

奇跡だと思ふ夫と会えたこと  
甦る命セカンドオピニオン  
奇跡かと思ふ笑顔の退院日  
初期化して奇跡の種を掘り起こす

村上 哲子  
戸田 清孝  
香川 保子  
村上 哲子

見も知らぬ人と連れ添い半世紀  
生存の奇跡へ瓦礫手で退ける  
雑踏の中で会えたねこの奇跡  
やるだけやった後は静かに奇跡待つ

阿部 俊八  
瀬戸 波紋  
島田千代子  
豊田 佳子

旅先でお隣さんとおっくわす  
前後賞ちよどローンと同じ額  
奇跡的生還ですは後日談  
なぜ僕は君の夫になったのか

福本 清美  
大岩 郁夫  
稲葉 岩明  
福本 清美

逆転の奇跡は無欲から生まれ

ビギナーズラックは一度は起こらない  
宿題座  
谷口 良三  
前中 知栄 選

東西に横綱番付が縮まる  
澄みわたる風をくたさい結跏趺坐  
取り敢えず使いやすさのパイプ椅子  
なぜ立った座り直せば思い出す

食卓を満塁にした定年日  
縄のれんまず一杯と長くなり  
毎朝の便座に感謝また感謝  
花見酒やっぱり車座に限る

私より美人の横は座らない  
助手席に座ればナビの顔になる  
叱る父叱られる子も正座です  
孤独を癒やすあなたと座るカウンター

座り込んだら講釈が長くなる  
ゆっくりと座りなおして出る本音  
本気度が正座の母にじみ出る  
末席に座る男の理想論

端っこに座り空気を読んでいる  
居座って空梅雨にする高気圧  
座標点のとれぬ猛暑に物価高  
人口骨入れて正座を許されず

座るべき人を待ちつつミルクティー  
町工場に居座っている不況風  
西川 東岳  
中武 弓  
桑野まりこ  
細川 正章

福本 清美  
佐藤 后子  
竹明なおみ  
阿部 俊八  
小林すみれ  
北川 周興

田中きみ子  
奥田 悦生  
若山 宗彦  
松岡登代子

青嶋由紀美  
能田 文夫  
鮎子田嘉子  
碓水 祥昭

森島アツ梗  
橋 和美  
山岸 洋美  
橋本 恭治

座るべき人を待ちつつミルクティー  
町工場に居座っている不況風

座るべき人を待ちつつミルクティー  
町工場に居座っている不況風

プロポーズしっかり聞いていたベンチ  
揺ぎない居場所がとうちゃん胡坐  
無我境地警策の音響くだけ  
孫が来て一等席にすぐ座る

天からのことばが座る午前二時  
居座った鬱大声で吐いてみる  
意固地なる家の歴史に胡坐かく  
てっぺんに座り引退急かされる

すっばりとお尻のはいる爺の膝  
前足をきちんとそろえ猫座る  
青い目の座禅日本のよい土産  
グリ下座る少女に身の危険

炎天下核廃絶の座り込み  
深々と座るロビーの待ち合わせ  
処世術座ると眠る癖がつき  
真夜中の椅子に座ったダリ首

若作りしても席には座りたい  
ここお座り言つて聞かせることがある  
近藤 クニ  
荻野 浩子  
富川 章  
南 高志

常國 喜好  
三瀬清一朗  
谷口委佐子  
水戸 二七  
小林 祥司  
大岩 郁夫

茶谷 好太  
毛利 元子  
住田 照水  
山口由利子

瀬戸 波紋  
弘津 明子  
山田 順啓  
植野 繁子

哲男 選

江畑 哲男 選

恋愛はご法度でした受験生  
青りんご恋のイロハをまた知らぬ  
恋模様ドラマ仕立てのミニトマト  
二人してかぶった恋の土用波

竹明なおみ  
西谷 公造  
稲垣 義舟  
原 加代子

黒田るみ子

ワンピースふんわり揺れて彼女来た  
 恋最空中給油するトンボ  
 度をしてもう恋じゃないストーカー  
 恋談義しても誰かが茶化してる  
 恋歌と知らず覚えた歌留多取り  
 いつだって恋のシーンを夢みてる  
 恋ふわり集中力が欠けている  
 遠花火恋の錯覚くれました  
 燃える恋残滓となった古日記  
 恋なんて言うと言律が回らない  
 つまらないバラ色だけの恋なんて  
 初恋に触れぬ約束して夫婦  
 恋をまだ語り合ってもいいですか  
 恋文を書いて君は黄泉の国  
 恋花が咲いて余生が楽しそう  
 公認の恋老春を輝やかす  
 傘寿でもう恋なんて恋なんて  
 猪突猛進で一緒になった妻  
 ふつと魔の差しそうな日の恋惑い  
 恋なんてとうに忘れた痴話喧嘩  
 行きずりの恋は憶れだけにする  
 猫達の恋の季節は八釜しい  
 恋人の真似ごとと父と腕を組む  
 失恋を時の流れに癒される  
 失恋の痛み偉業のバネにする

伊藤 博信  
 小林 祥司  
 鈴木かつえ  
 北川 周興  
 田中 葵  
 若山 宗彦  
 瀬戸 波紋  
 藤井 裕美  
 富川 章  
 田中 堂太  
 豊田 佳子  
 谷口 良三  
 中武 弓  
 富永 熙子  
 佐藤 后子  
 茶谷 好太  
 藤井満洲夫  
 中村八十八  
 廣田ひで子  
 村田 繁一  
 志方 智外  
 南 高志  
 谷口 東風  
 住田 照水  
 碓氷 祥昭

AIが結んだ恋の大大たり  
 あの人は優しいだけの罪な人  
 新しい恋が全てをクリアする  
 遠い日の花火のようなメロドラマ  
 カルピスは老人も飲む恋の味  
 恋ってすごい靴音だけでときめいた  
 プラトニックラブに口づけしています  
 お静かに恋が生まれているところ  
 生みたの恋です受けてくれますか  
 ドリップの落ちる静寂に揺れる恋

宿題 あいにく 松岡 篤選

あいにくと断る理由妻のケガ  
 お出かけ日あいにくの雨空睨む  
 今ならという値に足りぬ持ち合わせ  
 喉から手あいにく今は金が無い  
 持ち合わせあいにく無いと奢らせる  
 晴れ女今日はあいにく雨模様  
 あいにくと制限された献血車  
 誕生会楽しみだった用が出来  
 あいにくのパンクが呼んだキュービッド  
 アポなしで出かけやっぱ留守でした  
 目の前で品切れになる特価品  
 あいにくと栄一さんに好かれぬ  
 募金箱あいにくカードしか持たず

常國 喜好  
 戸田 清孝  
 西川 東岳  
 島田千代子  
 松下 英秋  
 田中きみ子  
 山田 順啓  
 小代千代子  
 福本 清美  
 栗原つや子  
 高瀬 秀子  
 香川 保子  
 藤井満洲夫  
 志方 智外  
 栗原つや子  
 橘 和美  
 桑野まりこ  
 細川 正章  
 常國 喜好  
 富永 熙子  
 大島美智代  
 谷口 良三  
 田中 堂太

悪いけど寄付をするほど金は無い  
 旨いもの尋ねて何と定休日  
 所よりの雨にも降られ雨女  
 ほんまやで昨日やったら貸せたのに  
 出掛ければ月曜だった美術館  
 妻に任せるあいにく私甘党で  
 押し買いへ生憎何もありません  
 走ったが最終便は出たところ  
 限定品わたしの前で売り切れる  
 難聴の受話器へ掛けた詐欺電話  
 合格をしたのはい金が足りず  
 あいにくの雨が嬉しい夏野菜  
 あいにくの天気ですなと恨み節  
 タッチの差引換券が貰えない  
 空梅雨が自慢の傘の出番消す  
 お言葉に甘えて奇れば留守だった  
 絶景のドライブコース熊が出る  
 誰も順譲る余裕のないトイレ  
 並んだがあいにく切れた備蓄米  
 割引は昨日までです悲しからず  
 あいにくをアラス思考で切り抜ける  
 朝採りもあいにく留守で鮮度落ち  
 酒に逃げたいが本日休肝日  
 整形の効果は一代で消える  
 エアコンの故障へ老いた母が来る

安藤 緑  
 山内 悦次  
 村上 哲子  
 植野 繁子  
 小林 祥司  
 谷口委佐子  
 中村八十八  
 若山 宗彦  
 替地三枝子  
 碓氷 祥昭  
 伊藤 博信  
 香川 大  
 久崎 田甫  
 能田 文夫  
 福本 清美  
 瀬戸 波紋  
 竹明なおみ  
 阿部 俊八  
 村田 繁一  
 安西 廣恭  
 毛利 元子  
 鈴木さゑ子  
 山田 順啓  
 近藤 クニ  
 田中五十鈴

あいにくですがその日病気になる予定  
あいにくの雨に打たれて縄のれん 豊田 佳子  
奥田 悦生

宿題痛 い 片岡 加代 選

痛恨のエラーで消えた甲子園 大岩 郁夫  
叩かれた子よりも痛い母の手は 村上 哲子  
未だ胸に父のゲンコが生きている 碓水 祥昭  
かき水キーンと響く頭蓋骨 安藤 緑  
ヒマワリの痛いところ突く戦場は 原 加代子  
痛い目にあって気付いた能天気 香川 大  
急ぐのに反則金は痛いなあ 久崎 田甫  
足小指タンスの角の餌食とは 村田 賢爾  
下駄履いて混んだ電車に乗らないで 松下 英秋  
背伸びしたピアスの穴にある痛み 弘津 明子  
国政の痛みも受ける曲がり角 山口由利子  
やはり止めよう痛そうな恋だから 中武 弓  
人前で打った痛さは笑っとく 楠山東石子  
武勇伝痛いところを突っ込む子 富川 章  
痛むのに医者ほひとつ加齢です 荻野 浩子  
痛いのは生きる力と執刀医 茶谷 好太  
心痛の種はお酒の量のこと 戸田 清孝  
帯状疱疹痛い痛い顔に出る 嶋 喜八郎  
賞味期限心が痛むフードロス 島田千代子  
つまらない話に腹が痛くなる 田中 堂太  
ストレスが溜まると起きる偏頭痛 藤井満洲夫

あつりと乗ってしまったあの揉み手  
なりすましの投資話にのった欲 田中きみ子  
森島アツ榎  
良く分かる同じ道のり来たイタミ 中谷 栄子  
コンニャクが痛い目に会う針供養 細川 正章  
痛み分けないのかロシアウクライナ 橋本 恭治  
短調に変わるとズキズキに変わる 水戸 二七  
痛い目に合わすチャンスだ総選挙 三瀬清一朗  
被爆悲話聞くとび心痛くなる 和泉富美子  
傾聴が心の痛み和らげた 豊田 佳子  
トンデイクーの呪文で消える子の痛み 田中五十鈴  
理不尽へ心が痛む拉致被害 若山 宗彦  
痛いなあ敵も弱点突いてくる 西陣 五朗  
あちこちが痛い脛にはまだ倅 能田 文夫  
カミングアウト心の痛み解き放つ 谷口 良三  
痛いところ貧乏神が握ってる 谷口 良三  
凶星だから心が痛むお説教 鈴木かつえ  
甘い水飲んだばかりに大やけど 栗原つや子  
腰ヘルニア背骨狭窄症である 谷口 東風  
痛くても痛くなくても医者通い 佐藤 后子  
レギナリーの座は渡さない痛み止め 中村八十八  
痛み止めだんだん増える摂取量 土居 直子  
結局は自分に刺さるブーメラン 常國 喜好  
八月の痛みが走る日本地図 小代千代子  
八十年前の傷口癒えぬまま 鮎子田嘉子

# イメージ吟募集

2025年12月号(10月15日必着)

第122回 イメージ吟(2句)



※番号10月号の投句用紙をご利用ください。

2026年1月号(11月15日必着)

第123回 イメージ吟(2句)



※番号11月号の投句用紙をご利用ください。